



国見町神代海岸の潮干狩りの様子

主な内容

P2 定例会の概要

P5 討論

P6 議決結果・賛否表

P8 意見書

P9 委員会報告

P12 一般質問

P22 読者のページ

P23 議会用語解説

P24 会期日程・編集後記

1,565万1千円を可決

主な施策を紹介します

◇庁舎整備事業【新規】4,165万1千円

本庁機能を吾妻庁舎及び千々石庁舎に集約し、不足する面積について増築を行い、併せて各総合支所の整備を図るために、庁舎整備計画を立案し、合併特例債を活用できる平成32年度まで計画的な庁舎整備を行う。

【事業概要】

- 本庁舎基本設計・実施設計
- 愛野総合支所及び愛野町公民館の整備計画
- 総合支所整備の年次計画策定

平成25年第1回雲仙市議会定例議会は、2月28日（3月28日の日程で開催されました。総額395億1,565万1千円の当初予算案などが審議され、賛成多数で全ての議案が可決されました。一般質問は19人の議員が行い、金澤新市長に市政について多方面からの質問を行いました。

◇デマンドタクシー運行事業【新規】

1,057万6千円

国見及び瑞穂地域において、交通弱者対策として、デマンドタクシーを運行し、生活交通の足の確保を図る。

【事業概要】

- 事業主体 雲仙市地域公共交通協議会
- 事業内容
 - ・運行期間 平成25年4月15日～平成25年9月30日
 - ・利用料金 大人500円、学生（小学生から高校生）250円
小学生未満の子どもは無料（但し同伴者が必要）
 - ・運行経路 国見地区：多比良線（魚洗川公民館～多比良駅）
神代線（上里公民館～神代駅）
瑞穂地区：西郷線（上木場公民館～西郷駅）
大正線（西原公民館～大正駅）

一般会計 特別会計の総計395億

●会計別予算内訳

(単位：千円)

会計名		平成25年度(a)	平成24年度(b)	増減額(a-b)
一	般 会 計	28,052,457	26,378,990	1,673,467
特 別 会 計	国民健康保険	7,898,263	7,790,115	108,148
	後期高齢者医療	464,996	474,045	△9,049
	簡易水道事業	1,005,816	1,019,101	△13,285
	下水道事業	1,219,603	1,295,018	△75,415
	国民宿舎事業	192,820	185,002	7,818
	温泉浴場事業	11,748	10,638	1,110
	と畜場	0	205,579	△205,579
水道事業(企業会計)		669,948	584,312	85,636
合 計		39,515,651	37,942,800	1,572,851

◇単独電算システム事業【新規】 2億7,000万円

市単独電算として刷新し構築することにより、事務効率化、総合窓口機能など、住民サービスの向上を図る。

【事業概要】

○事業内容

- ・住民情報系システム(50業務)及び内部情報系システム(6業務)の構築

◇仕事と子育て両立支援事業 (病児・病後児保育事業)【新規】 1,090万円

病気や病気の回復期にある子どもを保育所または自宅に訪問し、一時的に保育することで安心して子育てができる環境をつくる。

【事業概要】

- 事業主体 保育所運営法人など
- 事業内容 施設型1箇所
訪問型1箇所

◇島原半島地域食肉センター整備事業補助金【新規】 5億6,010万4千円

近代的な衛生管理機能を有する機械等の整備を実施することにより、島原半島の畜産農家の経営雇用をはじめ地域経済の維持発展を図る。

【事業内容】

- 事業主体 島原半島地域食肉センター事業協同組合
- 事業期間 平成25年度～平成26年度

○雲仙市議会議員及び雲仙市長の選挙における公費負担に関する条例の制定

■目的：候補者の選挙運動に要する経費負担の軽減
候補者間の選挙運動の機会均等を図るため

■内容：自動車を使用する場合（市長・市議会議員）
ポスターを作成する場合（市長・市議会議員）
ビラを作成する場合（市長のみ）

○雲仙市選挙公報の発行に関する条例の制定

■目的：候補者の基本情報を周知し、有権者の判断材料とするとともに
選挙に対する有権者の関心を高める。

■内容：選挙公報の発行（市長・市議会議員）

雲仙市営共同浴場(浜の湯)の使用料の改正

○目的 経営安定化を図る

○使用料

	区 分	単 位	改正後	改正前
入浴券	本市居住者	入浴1回につき	100円	50円
	本市居住者以外の者	入浴1回につき	150円	150円
回数券	本市居住者	入浴券13枚綴り1冊につき	1000円	なし

○時 期 平成25年10月1日から



討 論

◆平成25年度一般会計予算案

【可 決】

反 対 討 論

- 予算案には、いじめ防止専門委員会運営事業、仕事と子育て両立支援事業など評価できる事業もある。しかし次のような理由から反対する。第1は市民の暮らしが厳しい状況の中で2億4,200万円の繰上償還が予定されている。これはどうしても当該年度に返済しなければならないものではないはずだから、市民の暮らしを助ける方面に振り向けるべきだ。第2は住宅リフォーム緊急支援事業が4,000万円から3,000万円に減額されている。経済効果が大きいことは確認されているのに減額は理解できない。第3は漁業振興と諫干の潮受け堤防開門調査反対とは矛盾している。第4は国保税引き下げのための一般会計からの繰り入れがされていない。第5は長崎新幹線に関する予算は5万円ほどだが、推進する姿勢はよくない。以上の点から反対する。 【上田 篤議員】

賛 成 討 論

- 平成25年度当初予算案は、280億5,245万7千円で臨時的な特殊要因（食肉センター整備支援・国体準備事業・単独電算システム構築等）も加わったこともあり、前年度に比べて6.3%の増額となる積極予算が編成されている。
主要な新規事業は、庁舎整備計画が立案され、合併特例債を有効に活用できる平成32年度までに計画的な庁舎整備を行うとされ、平成25年度は本庁舎増設等の基本設計及び実施設計経費や市単独の電算システム等を構築して、事務の効率化により住民サービス向上を図る事業経費が計上されている。
福祉事業では、仕事と子育て両立支援事業として病児・病後児の保育事業や子ども夜間救急医療支援事業等が計上されている。予算案は雲仙市の厳しい財政状況を乗り切るため、行財政の健全化に努めるとともに市民生活に直結する事業等には積極的な展開を図りながら、全力で雲仙市の発展に努力されている予算案であると判断する。各常任委員会の採決は全て可決であり賛成する。 【浦川康二議員】

◆平成25年度国民健康保険特別会計予算案

【可 決】

反 対 討 論

- 国保とは医療のセーフティネット、最後の砦（とりで）だ。高齢者、無職者、病人など医療が必要で低所得の人たちが多く加入している。ここが他の保険との大きな違いだ。国や自治体が支援することは当然である。国保危機の一番の原因は、国保への国庫負担が削減されたことにある。市も限界にある国保加入者を助けるためにもっと努力すべきである。 【上田 篤議員】

賛 成 討 論

- 国民健康保険税は、給付と負担の原則にて課税を行っており、被保険者の負担増とならないように財源調整を行ってきた。国保会計に対し一般財源から法定に定められている補助額以外の繰り入れは、国保加入世帯数は雲仙市全体の49%であり、国保以外の社会保険、共済保険の皆様への負担を強いることとなり公平性を欠くこととなる。 【平野利和議員】

平成25年第1回雲仙市議会定例会 議決結果

議案番号	事 件 名	議決結果
議案第1号	専決処分した事件の承認について（平成24年度雲仙市一般会計補正予算（第6号））	承認
議案第2号	長崎県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少について	原案可決
議案第3号	雲仙市議会議員及び雲仙市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について	原案可決
議案第4号	雲仙市選挙公報の発行に関する条例の制定について	原案可決
議案第5号	雲仙市準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定について	原案可決
議案第6号	雲仙市都市公園に係る移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議案第7号	雲仙市都市公園条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第8号	雲仙市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第9号	雲仙市防災会議条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第10号	雲仙市災害対策本部条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第11号	雲仙市営共同浴場の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第12号	雲仙市福祉医療費の支給に関する条例及び雲仙市障害程度区分認定審査会の委員の定数等を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第13号	雲仙市と畜場の廃止に伴う関係条例の整理に関する条例について	原案可決
議案第14号	平成24年度雲仙市一般会計補正予算（第7号）案について	原案可決
議案第15号	平成24年度雲仙市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）案について	原案可決
議案第16号	平成24年度雲仙市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）案について	原案可決
議案第17号	平成24年度雲仙市簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）案について	原案可決
議案第18号	平成24年度雲仙市と畜場特別会計補正予算（第1号）案について	原案可決
議案第19号	平成25年度雲仙市一般会計予算案について	原案可決
議案第20号	平成25年度雲仙市国民健康保険特別会計予算案について	原案可決
議案第21号	平成25年度雲仙市後期高齢者医療特別会計予算案について	原案可決
議案第22号	平成25年度雲仙市簡易水道事業特別会計予算案について	原案可決
議案第23号	平成25年度雲仙市下水道事業特別会計予算案について	原案可決
議案第24号	平成25年度雲仙市国民宿舎事業特別会計予算案について	原案可決
議案第25号	平成25年度雲仙市温泉浴場事業特別会計予算案について	原案可決
議案第26号	平成25年度雲仙市水道事業会計予算案について	原案可決
議案第27号	新市建設計画の一部変更について	原案可決

議案番号	事 件 名	議決結果
議案 第28号	工事請負契約の変更について	原案可決
議案 第29号	市有財産の無償譲渡について	原案可決
議案 第30号	市有財産の無償貸付について	原案可決
議案 第31号	教育委員会委員の任命について	原案可決
議案 第32号	平成24年度雲仙市一般会計補正予算（第8号）案について	原案可決
議案 第33号	平成24年度雲仙市簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）案について	原案可決
議案 第34号	平成25年度雲仙市一般会計補正予算（第1号）案について	原案可決
議案 第35号	平成25年度雲仙市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）案について	原案可決
発議 第1号	雲仙市議会会議規則の一部を改正する規則について	原案可決
発議 第2号	雲仙市議会委員会条例の一部を改正する条例について	原案可決
発議 第3号	参考人等に対する実費弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
発議 第4号	雲仙市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
発議 第5号	雲仙市議会基本条例の一部を改正する条例について	原案可決
発議 第7号	T P P交渉参加に対する意見書について	原案可決

賛 否 表

	議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
	結 果	表 決 数	林田哲幸	坂本弘樹	酒井恭二	平野利和	浦川康二	大久保信一	深堀善彰	前田哲	上田篤	町田康則	松尾文昭	前川治	大久保正美	小畑吉時	元村康一	柴田安宣	小田孝明	岩下勝	福田大東	町田誠	岩永基和	中村一勲	中村明	石田徳春	森山繁一
教育委員会委員の任命について	可決	22:2	投 票																				▲	投 票			
平成25年度一般会計予算案について	可決	23:1	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度国民健康保険特別会計予算案について	可決	23:1	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度後期高齢者医療特別会計予算案について	可決	22:2	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	●
雲仙市営共同浴場の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	24:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ●は反対 ▲は欠席

TPP交渉参加に対する意見書

を国の関係省庁へ送付しました

TPP交渉参加に対する意見書

安倍晋三首相は、3月15日に環太平洋連携協定（TPP）について、日本が交渉に参加することを正式表明した。

TPPに参加すれば、日本の農業が壊滅的な打撃を受けることは、政府の新たな試算「統一試算」でも改めて示されたところであるが、それによると農業生産額は3兆円も減り、食料自給率も40%から27%に低下するなどである。

雲仙市の基幹産業は農業であり、これらの試算からしてもTPP参加によって深刻な影響を受けることは明らかであり、それが地域経済全体に波及していくことは当然のことである。

農業分野以外でも食の安全をはじめ、医療、保険、郵政、政府調達、労働など広範な分野で、国民の命と暮らしを守る各種の国内制度が破壊されることが予想される場所であるが、与党である自民党は政府の交渉参加を容認する前提として、農林水産分野の米、麦など「重要5品目」や国民皆保険制度で聖域が確保できない場合、「脱退も辞さない」との決議を首相に提出している。

よって、国におかれてはこの聖域の確保ができないまま、TPP交渉に参加することがないよう強く要望するものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成25年3月28日

長崎県雲仙市議会

内閣総理大臣 安倍 晋三 様

農林水産大臣 林 芳正 様

経済産業大臣 茂木 敏充 様

厚生労働大臣 田村 憲久 様

衆議院議長 伊吹 文明 様

参議院議長 平田 健二 様

常任委員会報告

付 託 案 件	審議結果
雲仙市議会議員及び雲仙市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定ほか4件	原案可決
平成24年度一般会計補正予算（第7号）案ほか1件	原案可決
平成25年度一般会計予算案ほか1件	原案可決
新市建設計画の一部変更について	原案可決

本委員会に付託された左記の案件について、原案可決10件と決定しました。
主な案件の質疑内容は次のとおりです。

雲仙市防災会議条例の一部を改正する条例について

質疑 防災会議委員の「学識経験のある者」とあるが、どういう人を任命する予定か。

答弁 自治会連合会、各種ボランティア協会、婦人会、婦人防火クラブの代表者など対象を広げて任命する予定である。

平成24年度一般会計補正予算（第7号）案について

質疑 庁舎整備基金積立金は今回1億円を積立て総額約7億円となるが、本庁舎及び総合支所の整備についての財源の考えは。

答弁 庁舎整備については合併特例債の活用を図り、その対象外の整備や備品等については、この庁舎整備基金積立金予定総額8億円で、本庁舎及び総合支所も含め整備を行いたい。

平成25年度一般会計予算案について

質疑 文書通送費で市長の弔電の件数及び予算額は、また甲電は市長交際費に予算計上すべきではないのか。

答弁 件数749件、一通あたり580円で、予算額434,420円である。甲電は交際費的な意味合い

があるが、全庁的に一括管理することが事務効率であること、また近隣他市においても同様なことから、文書通送費に計上した。



質疑 安全・安心アドバイザー事業は、市民の安心と安全の確保と職員が安全に安心して業務に専念できる環境を整備するための事業であるが、市民からの相談実績はあるのか。

答弁 現在、市民からの相談はほとんどなく、職員からの相談が主である。今後は市民からの相談を増やすような対応を行いたい。

質疑 婚活（結婚活動）ネットワーク推進事業の新年度の取り

組み内容は。

答弁 新年度は、独自に婚活を実施している各ボランティア団体・商工会・農協などと連携を取りながら、市としてどのように取り組むことが出来るか把握し、内部のネットワークを充実させたい。

質疑 本庁舎の増築庁舎の基本設計・実施設計等に要する委託料を計上してあるが、まだ庁舎整備計画も素案であり、組織体制も決定しない段階で予算計上するのは早過ぎるのではないか。

答弁 現状では素案という形では公表できない段階である。6月議会には組織体制を踏まえ、面積、総合支所、駐車場等も含め、計画案の説明を行い、設計委託に進みたい。

反対討論 2億4,200万円繰上げ償還として計上されている。昨年度4千万円の予算であった住宅・店舗リフォーム緊急支援事業補助金が今年度3千万円へ減額されている分に償還額から充当する考えはなかったのか。また、国保会計に

償還額等から繰入れて国保税の引き下げ措置を取るべきだ、と考えるため反対する。

採決の結果、賛成多数により可決。

TPP交渉参加に対する意見書について

国は、農林水産分野の米・麦など「重要5品目」や国民皆保険制度の聖域の確保ができないまま、TPP交渉に参加することがないよう、関係大臣へ意見書を提出する旨の意見書を本会議へ委員会発議として提出することを全会一致で決定した。

現地調査を実施

鳥原消防署北分署新庁舎建設予定地及び市内消防施設詰所3箇所



北分署新庁舎建設予定地調査

総務

付 託 案 件	審議結果
雲仙市営共同浴場の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例ほか2件	原案可決
平成24年度一般会計補正予算（第7号）案ほか4件	原案可決
平成25年度一般会計予算案ほか4件	原案可決
工事請負契約の変更についてほか2件	原案可決

本委員会に付託された左記の案件について、原案可決16件と決定しました。
主な案件の質疑内容は次のとおりです。

雲仙市営共同浴場の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例について

「浜の湯」の本市居住者の使用料を1000円に改正しようとするもの。

質疑 夕日の広場駐車場に浜の湯利用者のスペースを設け、駐車場使用料を支払うとのことであるが、所管が違うとはいえず、市の駐車場に料金を支払う必要があるのか。

答弁 浜の湯は特別会計で運営をしているため、その収益の中から支払うべきと判断をしている。

意見 近隣の駐車場に迷惑がからないように、夕日の広場駐車場に看板を設置するなど、駐車場利用者へ周知を図ってほしい。

平成25年度一般会計予算案について

質疑 鍋島邸にこれまでかかった費用及び今後必要と思われる費用は。

答弁 現在行っている修理工事に3億5千万円、今後については文化庁から防火設備設置の指

文教厚生

導を受けており、その費用が見込まれる。また、年間の管理費が930万円程度かかっており、今後入場料等の見直しも検討していきたい。

質疑 国体のリハーサル大会経費として、サッカー競技で3,566万4千円、ボクシング競技で4,422万円もの予算が必要なのか。

答弁 金額の積み上げについては先催県を参考にし、長崎県とも打ち合わせをしながら行っており、国体本番に向けて確かな運営を行うための経費である。

質疑 みずほすこやかランドについて、施設を運営する上で収支の検証を行うべきであると考えるが、今後の方向性は。

答弁 施設の老朽化や設備の故障等が課題であるが、早い時期に指定管理者に管理運営をお願いしたいと考えている。厳しい状況ではあるが、現場での早期対応、ランニングコストの精査、さまざまな団体へのPRなど、少しでも安く指定管理に出せるよう努力していきたい。

質疑 生活保護支給事業について、雲仙市の傾向として、生活保護を受ける世帯数は増加し人数は減少しているが、今後の見通しについて。

答弁 生活保護の相談者が高齢化してきており、老人の一人世帯が増えている。医療扶助が毎年伸びてきており、今後も生活保護費は減少しないと見込んでいる。

質疑 仕事と子育て両立支援事業（病児・病後児保育事業）について、施設型は保育所等で病気の回復期の子どもを一時的に保育することであるが、看護師等の配置が必要ではないのか。

答弁 施設型は利用児童10名につき看護師1名以上、3名につき保育士1名以上を配置するようにになっている。訪問型はこの業務に従事するための研修を受けた看護師や保育士が、病気の回復期及び回復期に至らないが入

院の必要のない子どもの自宅を訪問し一時的に保育を行うが、1日何人の児童を保育することができるかは、事業所における看護師等の登録状況によるので未定である。

質疑 ごみ袋販売事業について、ごみ袋に広告を載せることはできないか。

答弁 県内で3自治体を取り組んでいるが、業者の応募がない市もあり、今後経費等を含めて研究したい。

質疑 地球温暖化対策事業について、太陽光発電システム設置の補助金を、申請の時期により受けられない人がいるのは不公平ではないか。

答弁 補助金があることにより設置の意欲を駆り立てる起爆剤的な目的を持った事業である。



木指小学校現地調査

常任委員会報告

付託案件	審議結果
専決処分した事件の承認について（平成24年度一般会計補正予算（第6号））	承認
準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定についてほか2件	原案可決
平成25年度一般会計予算案についてほか4件	原案可決
平成24年度一般会計補正予算（第7号）案についてほか5件	原案可決

本委員会に付託された左記の案件について、承認1件、原案可決14件と決定しました。主な案件の質疑内容は次のとおりです。

平成24年度一般会計補正予算（第7号）案について

質疑 八斗木地区農地整備事業における国・県の予算はどのくらいあるのか。

答弁 国の予備費割当など約4億8千万円である。

質疑 雲仙古湯地区街なみ環境整備事業は、今回の補正予算がなければ完成できないのではないか。当初から補正予算を組む考えではなかったのか。

答弁 平成23年度の施工分が平成24年度にくい込んだことと地元からの要望もあり、今回補正予算を組まなければ、仕上がらない状態であった。今後注意していきたい。

平成24年度簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）案について

質疑 南串山地区において、統合整備事業が困難であった理由は何か。

答弁 予定箇所を水源とした場合の湧水量の減とそれに伴う近辺の水田の関係上、地元住民と協議をした結果、断念した。

平成25年度一般会計予算案について

質疑 地場産業育成のため、共通物品の納入などには、地元企業を使って欲しい。どのように考えているのか。

答弁 基本的には市内業者を中心に考えているが、市内での調達難しい場合もある。

質疑 金澤市長就任により、平成25年度からの入札制度に変更は生じるのか。

答弁 従来どおりである。

質疑 農援隊利用農家支援事業であったが、今回名称が農援隊支援事業となっているのはなぜか。

答弁 平成24年度までは対象を個人としていたが、平成25年度からは組織の確立のための支援となることにより変更している。

質疑 担い手支援相談窓口設置事業における農業相談スペシャリストの業務内容は。

答弁 国・県・市などへの仲介も含め、新規就農、農業の法人化、農地の確保、各種制度の周

知など総合的な支援業務である。
質疑 6次産業化推進支援事業において、市独自の考えはないのか。

答弁 2分の1の国の補助に対し、市で10%上乗せをし、少しでも個人負担を軽減しながら、後押しをしていきたい。

質疑 愛津原地区農地整備事業における今後の見通しは。

答弁 現在認定農家などを中心に60%から70%の賛同を得ている。今後、個別土地持ち農家へ意向調査も含めて事業同意取得を行う。

質疑 雲仙市観光協議会をどのように考えているのか。

答弁 現在見直しをしている。島原半島観光連盟が中心となり、半島3市で観光窓口を一本化しようとするGAMADASU（ガマダス）プロジェクト推進事業もあるため、あわせて検討していきたい。

質疑 アンテナショップ

の効果はあっているのか。今後続けていくのか。

答弁 出店している3市で5年目を迎える平成26年度において、今までの効果などを協議検証していきたい。

平成25年度簡易水道事業特別会計予算案について

質疑 今回議案第17号において、南串山地区の水源確保が断念されているが、今度はどこで予定しているのか。

答弁 南串山地区の諏訪の池地区周辺で計画している。

産業建設



パークホテル現地調査

一般質問

19名の議員が金澤新市長に対し、
これからの市政について一般質問を行いました。

浦川 康二…P12	林田 哲幸…P15	小畑 吉時…P17	柴田 安宣…P20
町田 康則…P13	坂本 弘樹…P15	平野 利和…P18	酒井 恭二…P20
町田 誠…P13	深堀 善彰…P16	福田 大東…P18	小田 孝明…P21
石田 徳春…P14	中村 一明…P16	岩下 勝…P19	中村 勲…P21
前川 治…P14	上田 篤…P17	元村 康一…P19	



一般質問は、質問者自身が議事録をもとに原稿を作成しています。

新市長の市政運営は



うらかわ やすじ
浦川 康二 議員

経営感覚での 市政運営とは

浦川議員 市長は企業経営の経験を生かし、経営感覚を持って市民の視点・立ち位置で市政運営に取り組むと表明されているがその具体的方策は。

金澤市長 私が考える経営感覚を持つての市政運営とは、第1に市民の視点・立ち位置での市民満足度の向上を図ること。第2に事業の成果主義による情報公開を行うこと。第3に改善の意識を持つて省力化、効率化を図ること。この3つのことに集約される。

平成25年度の予算編成は

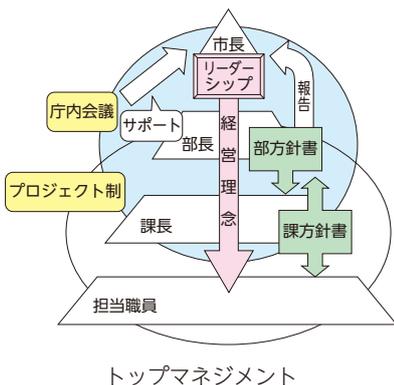
浦川議員 平成25年度の予算編成方針は、昨年10月策定

されているが、12月に国の政権交代、1月には市長の交代が行われており、修正すべきではなかったのか。

畑中総務部長 政権交代による国の予算情報が十分ではなく修正はしていない。新市長への対応は就任早々に予算編成方針を説明し、基本的な事項は前市長の取り組みを踏襲することです承を得ている。

浦川議員 市長の9項目の重点事業に対する予算配分額及び前年度との比較は。

畑中部長 平成25年度9項目の重点事業に配分した予算額は174億3,900万円であり、前年度に比して14億4千万円が増額となっている。



小浜病院の新築計画は



町田 康則 議員
まちだ やすのり

市長・副市長・教育長の
退職金の減額は

町田議員 12月議会で市長

が不在であったので新市長に
聞くが、4年間ことにもらう
市長の退職金が2,061万
円、副市長1,002万円、
教育長618万円である。こ
れは、県市町村職員手当支給
条例第6条で決めてあるが、
納税者たる市民感情から見ると
あまりにも高く、まさに悪
法と言わざるをえない。全国
の市で見直しが出ている。金
澤市長は市民の声に耳を傾
け、経営感覚をもって市民の
視点、立ち位置で市政運営に
取り組みたいと言われたがど
うか。

町田議員 公立新小浜病院
は市民の安心・安全の医療の
場として建設され、すでに41
年経過し、当然耐震対策はな
されていない。今年、国は緊
急経済対策で、学校や病院の
耐震化推進として3兆8千億
円の予算を付けた。小浜病院
の留保金・基金はいくらある
のか。

金澤市長 平成23年度の決
算書によると、病院の財政調
整基金が約3億円、内部留保
資金が約8億7千万円である。
町田議員 内部留保資金と
基金を合わせると11億7千万
円もあり、病院の新築を考え
ていくべきだ。

金澤市長 今の市民の感覚

を、特別
職全員認
識してい
る。さま
ざまな検
討を続け
たい。



公立新小浜病院

学校教育環境は



町田 誠 議員
まちだ まこと

市内学校教育環境は

町田議員 東京都の小学校

において、乳製品アレルギー
により11歳の女兒が給食を食
べた後死亡した。(平成24年
12月)本市ではどのような対策
をとっているか。

山野教育長 養護教諭、食

育担当、校長等の研修会で、
食物アレルギーを有する児童
生徒がアレルギー症状を発生
した際の対応等について研修
をしている。

町田議員 アレルギーを発

症すると、原因物質の摂取2
時間以内に呼吸器消化器など
多臓器に症状が出て、血圧低
下などで生命が危険な状態に
なる場合がある。そこでエピ
ペンやアドレナリンを教職員

が打つことは医師法に違反し
ないとする見解が示されてい
る。

中国大陸北西部からの黄砂
微粒子状物質PM2.5対策
は本市は大丈夫か。

菅市民生活部長 3月18日
県でも会議が開かれ本市でも
無線等で情報を流したい。

防災対策は

町田議員 千々石海岸近く

で高潮と台風が重なり海水が
排水口から度々逆流する。川
尻に滞積した砂の対策につい
ても早急に行ってほしい。



千々石川下流

市長の諫干開門対応は



いしだ たくはる
石田 徳春 議員

諫早湾干拓事業は

石田議員

福岡高裁は漁民

原告の主張を認め、国に対し南北排水門の五カ年間常時開門を命じ、国も上告を断念し判決が確定。開門期限が十二月二十日と迫る中、福岡高裁判決を市長として、どう受け止めておられるのか伺いたい。

金澤市長

司法国家の中で

確定した判決は揺るがないことは、十分理解している。国が実施した環境アセスメントの結果は、開門しても有明海全体の環境改善には繋がらず、諫早湾の環境はむしろ悪化する方向が示されている。地域住民の安全と安定的な農業、漁業について十分

な担保が取れない以上、開門反対の意志を表明せざるを得ないと考えている。

石田議員

長崎県は知事を

先頭に開門反対である。開門すると諫早湾の環境は悪化するといわれる。それでは、今おこなわれている二日に一回の開門排水を、どう説明されるのか伺いたい。言っておられることが道理にあわない。

地元の開門反対者は要望を、国が聞き入れないと不満を募らせるように、我々開門賛成漁民も地元長崎県知事が開門に向けて一切聞く耳を持たないことに、憤りを感じる事と同じではないか。調整池の排水によって、日常的に苦しむ漁民の被害には、県は目を閉じたままである。



調整池一面を覆うアオコ

まちづくりへの取組は



まえかわ おさむ
前川 治 議員

総合計画に基づく

まちづくり

前川議員

総合計画に基づ

く雲仙市のまちづくりに、どのように取り組むのか。

金澤市長

今後、総合計画

のそれぞれの項目について精査し、問題点と考え方を整理したいので時間をもらいたい。

まちの拠点づくり

前川議員

交通の拠点は愛

野であろうと思うが、愛野というバス停が5つある。交通の拠点づくりをする必要があると思うが。

金澤市長

総合計画の地域

別振興計画において、公共機

関の交通ターミナル、交通の結節点として機能の必要性をうたわれていたと認識している。

複合施設づくり

前川議員

交通ターミナル

のみならず、愛野総合支所庁舎、文化ホールを含めた複合的な施設を考えるべきではないか。

金澤市長

交通ターミナル、

文化施設、さまざまな機能を持たせることについて、庁舎整備計画も含めた中で、総合的に研究したい。

前川議員

国の補正予算の

中で、地域活性化のため地方都市で、公共施設の機能を中心部に集約する、コンパクトシティの取組みを推進するとある。チャンスではないか。

金澤市長

補正予算の自身

を熟知していないが、市として方針を決めた上で、国のさまざまな施策に取り組んでいくことも必要であろうと思う。

57号代替道路の整備は



はやしだ たつゆき
林田 哲幸 議員

広域的な道路整備は

林田議員 いまだに事業化に至っていない愛野・小浜バイパスについてどう考えるか。

金澤市長 国道57号の代替

道路として、早期に整備する必要があると考え、今後も早期の整備実現に向けて努力していく。

林田議員 市道木場山領線の

早期完成が必要と思うが、市長の考えは。

野口建設整備部長 平成21

年度から平成30年度までの予定で整備を進めていて、現在は用地交渉の段階。

林田議員 期間を短縮でき

ないか。

野口部長 用地も完全でない状況では、対応が難しい。

観光振興は

林田議員 観光業は雲仙市にとって、どういう位置づけか。

金澤市長 観光業は、農林

水産業とともに本市の基幹産業だと認識している。幅広い産業と密に関連した非常にすそ野の広い総合産業であり、他産業に与える経済効果は非常に大きいものだと考える。

林田議員 市内の地域資源

や各種事業を観光に結びつけることが重要である。職員が様々な事業の把握、情報の共有を行う取り組みはできないか。

町田副市長 観光について

市役所の中で扱う部署、雲仙市内の事業、視察の対象になるような事業についての一元化の窓口は必要だと思うので、今後、部署をまとめて、一つの窓口で対応できるように、検討、研究をしたいと思う。

森林をきれいにしよう



さかもと ひろき
坂本 弘樹 議員

森林・林業の振興は

坂本議員 市面積の半分を占める森林を元気で美しいものにするための方策は。

酒井農林水産商工部長 現

在、市有林の整備は年10ha程度であるが、補助事業を県等に相談しながら、整備面積を増やしていきたい。

坂本議員 切捨間伐整備に

より間伐材が山に放置されているが、この間伐材の活用は。

酒井部長 市内の2業者が

県の地域資源活用事業化推進事業の中で、木質ペレットの活用を調査している。市としても間伐材の活用には支援をしていかなければならない。

坂本議員 森林整備に他業種の参入は出来ないか。

酒井部長 県にて建設業・造園業等を対象にチェーンソー等の林業に携わるための研修が実施されている。今後企業参入は十分考えられる。

坂本議員 林道路網整備により公共事業を増やせないか。

酒井部長 整備する必要がある。補助事業を活用し、積極的に取り組みたい。

警察官舎跡地の活用は

坂本議員 神代小路地区に

ある警察官舎跡地を伝統的建造物群保存地区のまちづくりの一環として購入できないか。画を立て、研究してみたい。

山野教育長 跡地の利用計



警察官舎跡地

国保税の引下げは急務



う えだ あつし
上田 篤 議員

一般会計からの繰入れで
国保税の引き下げを

上田議員 雲仙市の国保税

は年所得200万円で税額37万円余である。高いとは思わないか。

金澤市長 高いとは思わう。

上田議員 予算では国保基金から2億円の繰入をし、残額はわずかだ。しかし、国保税が高いのははっきりしており、引下げは必要だ。もう一般会計からの繰入をするしかない。

菅市民生活部長 島原市では国保会計を維持するために一般会計からの繰入を行った。県内各地で税率の引上げが検討されている。

上田議員 国保財政危機の基本にあるのは、国の繰入が20年前の半分になったことだ。滞納者も、限界だという人も増えていることを認識した上で対策を立ててもらいたい。

いかなる場合でも体罰は許されない

上田議員 体罰についての認識はどうか。

金澤市長 学校教育法で禁止されている許されない行為だ。

山野教育長 学校教育法第11条に体罰は加えることとはできないと明記してある。指導者と子どもとの信頼関係をなくすし、体罰による教育効果も期待できない。



多比良埋立地の活用は



お ば た よしとき
小畑 吉時 議員

国体終了後の活用は

小畑議員 国見町多比良埋

立地が「長崎がんばらんば国体」馬術競技会場の予定となっている。ここは県が平成5年に埋立に着手し20年が経過した。国体終了後はどのように利用するのか。

金澤市長 埋立てが完了している14haの土地について

は、市の土地利用計画をまとめ、県と協議して部分竣工させることが必要である。市民参加のアイデアワークショップで意見を聞き国見地域審議会でも協議している。今後市民の意見を聞きながら利用計画の作成する。

小畑議員 会場への取付け道路設置については当初計画及び変更後の説明が事後報告であり地元の意見が反映されていない。今後どうするのか。

ていない。今後どうするのか。
山野教育長 取付け道路の位置決定にあたり議員や地元住民への事前の説明で配慮が足りなかったことを深く反省している。今後は十分事前説明を行い地元の意見もよく聞いて進めていく。

近藤政策企画課長 国道と

国見総合支所からの交差点付近を埋立地の進入口として利用計画を策定したい。

国見町郷土誌は

小畑議員 住民からの訴えにより調査したところ、旧国見町時代に発行された国見町郷土誌が大量に改善センター内に残されていることが判明した。昭和59年度に5千部発行し、今年2月時点で1,113部が残されている。今後どうするのか。

教育長 指摘されるまでこの事実を知らなかったことを反省している。今後は広く住民に周知し販売に努め、寄付者等への進呈なども考えたい。
小畑議員 早急な対応を要望する。

新市長としての取組み



ひらの としかず
平野 利和 議員

交通網の整備は

平野議員 地域高規格道路
島原道路と愛野小浜バイパス
の整備について、新市長の考
え方は。

金澤市長 愛野森山バイパ
スは平成25年度中供用開始に
向け進められ、吾妻愛野バイ
パスは平成29年度完成予定。
吾妻島原間は、早期完成に向
け事業推進に努める。愛野小
浜バイパスは、県、国へ要望
活動に取組む。

教育施策は

平野議員 子供の健康を
守る「あいうべ体操」の導入
を検討できないか。□呼吸か
ら鼻呼吸にする事により、体

環境問題は

内に雑菌の侵入を防ぎ、イン
フルエンザ等の予防にもな
り、学年閉鎖、学級閉鎖がゼ
ロになっている事例があるが。
山野教育長 インフルエン
ザ等予防策の一つとして、学
校に紹介したい。

平野議員 資源回収ボック
スを公共施設に設置を提案す
る。

菅市民生活部長 4月1日
から総合支所、本庁に小型の
設置ボックスを設けPRをし
ていく。

他の質問

- ・福祉施策
- ・防犯灯の現状
- ・観光施策



市長の経営感覚とは



ふくだ だいち
福田 大東 議員

市長の経営感覚と 市政への導入方針は

金澤市長 市政運営におい
ては行政の目線ではなく、市
民の目線で考えた市民サービ
スの向上を図り、数値目標
を定め、行政評価を行いな
がら、前例踏襲ではなく、
常にコスト意識、スピード感
を持つて効果的、効率的な行
政運営の推進を図っていくこ
とで、市役所が地域での最大
のサービス業となり得るもの
と確信している。

経営感覚を施策にどう繋げ
ていくかであるが、総合計画
の一つ一つを精査し問題点を
整理し、今後の施策に繋げる。

低迷する本市観光の 主要原因は何か

岸川観光物産まちづくり本部長
一番大きいのは景気の低迷。

二番目に旅行形態の変化。三
番目に九州新幹線の影響等が
考えられる。

福田議員 抜けている事が
一つある。それは観光宣伝の
拙さ、不足である。コマシーヤ
ルの原則は、継続的に執拗に
行わないと効果がない。現在、
雲仙温泉の全国的知名度19位
で、かつては2位が最高で
あった。近年低迷を続けてい
る。入湯税が観光宣伝にいく
ら使われているか。

金澤市長 把握していない。
福田議員 目的税である入
湯税収入が、約6,500万円
ある。この内、20%1,300
万円、30%1,900万円。

これを原資に観光宣伝に力
をいれていただきたい。

増え続ける未納税金の 回収対策は

菅市民生活部長 現在未納
額は約12億5千万円である。

福田議員 一生懸命に納税
をされている方と、不公平に
ならないように対策チーム、
体制を作ってもらいたい。金
澤市長ならできると信じてい
る。

交通体系の整備は



いわした 岩下 まさる 議員

デマンドタクシーの運行は

岩下議員 今年度から国見町、瑞穂町においてデマンドタクシーの運行が予定されているが概要については。

菅市民生活部長 平成23年の意向調査をもとに、公共交通の空白地帯対策で、国土交通省の認定を受けての運行である。国見町2業者、瑞穂町1業者の予定、利用は予約制で前日の午後9時まで予約が必要、運行は午前・午後各3便で乗降地は各路線20ヶ所ぐらい予定。

料金は一律500円、学生は半額・小学生未満は無料だが同伴者が必要。期間は4月

から9月まで土日・祝日を除く、10月以降は利用状況を見て対応する。

千年の湯、現状と方向性は

岩下議員 平成13年、オープン以来多くの方に利用されているが、年々減少している。指定管理者公募に応募がなかったが要因は。また現状と今後の方向性については。

山野教育長 平成24年度の利用者は月平均5千人余りである。指定管理者については、水中ポンプや、設備、機械等の老朽化による故障が多く、安定した運営ができないのが応募がない原因ではないか。今後の方向性については、

水中ポンプの故障を含め、利用者数、収支の状況等により、存続か、沸かし湯にするのか、総合的に判断する必要がある。

岩下議員 千年の湯の存続については、市民の協力と理解が必要である。

愛野小浜バイパス建設



もとむら 元村 やすかず 議員

バイパス建設実現に向けた対応は

元村議員 愛野小浜間は国道が一本あるだけで、万一災害等で遮断された場合代替道路がない。特に、小浜町の出口である一妙寺から石合の給

油所間は急峻な崖で大変危険な箇所であり、ここがもし崩れたら、北村方面へは完全ストップとなる。災害対策や観光客増加による地域振興、救急救命率の向上など、小浜、南串山を含む半島西南部の住民にとっては、まさに命の道である。市長の考えは。

また、愛野小浜バイパスの代替ルートとして、鬘申から山領間の小浜バイパス構想が上がっているが是非実現して欲しい。市の考えは。

金澤市長 愛野小浜バイパスを命の道として、地元選出の県議会議員、国会議員の協力を得ながら、県、国、政権

与党の自民党、公明党に対し、早期実現に向け要望をしていく。

野口建設整備部長 山領から鬘申までの代替道路は必要なものと考えている。これからも研究していく。

結婚活動支援は

元村議員 未婚化晩婚化の要因は、個人の結婚に対する

考え方であるが、結婚はしたいと思うけど出合いの場がないという理由が一番多いようである。結婚は出産や少子化、定住対策などの人口対策、後継者対策などいろんなことに関連している。市として、もう少し積極的に取り組むべきではないか。

金澤市長 少子化による人口減少対策や、地域活性化の面から、婚活支援を行う必要性があると認識している。

新市長に新政策を問う



しばた やすのぶ
柴田 安宣 議員

庁舎整備は

柴田議員

吾妻増築案は当

初計画の一人当り職員面積の半分しかなく、事務効率の向上、執務環境の改善が図れず、逆に会議室不足、駐車場の大中不足を増幅する事になりかねない。総合支所機能の充実を含めて多面的な考えで取組むべきと思うが。

金澤市長

庁舎整備につい

ては、これまで積み重ねてきたものを尊重し、議会の意見も聞きながら進めていく。

工業団地造成による人口減対策

柴田議員

地域高規格道路

整備中の今、工業団地を造成して企業誘致の準備をするべきと考えるが、現在計画中の愛野町の愛津原ほ場整備事業

の関係者は都市に期待している人も多く、一元的な圃場整備では難しいと思われるので、工業団地も造りながら圃場整備を行えば両立すると思うが。

酒井農林水産商工部長

市

としても同様の考え方で進めていきたい。大規模な工業団地になると関係機関との協議・調整を十分行う必要があるが、積極的に取り組みたい。

TPPへの対応は

柴田議員

TPPは物品の

貿易以外に金融、建設、医療と多岐にわたり経済界にも厳しい影響が予測されているが、特に農林水産業の被害は年間総生産額の50%を越える事が予想される。市はどう対応するか。

金澤市長

安倍総理は交渉

参加を正式に発表されている。何も対策を講じないでの交渉参加には他市と連携を取りながら反対して行き、万全の対策を講じる様要望活動も行う。

なぜ庁舎整備大幅増



さかい きょうじ
酒井 恭二 議員

増築規模が、1300㎡から1800㎡に

酒井議員

一昨年の雲仙市

の事務所の位置の変更の議論の際、市の説明では増築規模を1,300㎡としていたが、整備計画では1,800㎡の増築とされている。当時、なぜ1,300㎡増築すると説明したのか。

近藤政策企画課長

現状に

おいて不足するスペースの合計が1,300㎡であったが、その後、検討する中で、エレベーターの設置を考えると、別館を解体し増築整備することがベストだと考えた。

酒井議員 当時、議会、市民説明会で別館を残し、1,300㎡増築すると言われたのは、周りの状況も見えない

い机上の考えだったということか。

総合支所と併設で愛野町公民館建替

酒井議員

当時の議論の中

で、新庁舎と併設で、老朽化した愛野町公民館の建替の主張もあった。その際は、公民館の建替費用が多にかかると主張されていた市が、整備計画で、老朽化した愛野総合支所の建替のために、現愛野町公民館を解体し併設で建替える計画は矛盾しないか。

近藤課長

まったく矛盾しているとは思わない。

庁舎整備計画に合併特例債の活用

酒井議員

条例改正から

9ヶ月後の庁舎整備検討委員会の開催は遅いのでは。特例債の期限が延長されたからよかったが、もっと早く整備計画は作るべきでは。

町田副市長 遅れた点はお詫びする。

埋立地への進入道路



おだ こうめい 議員
小田 孝明

形態、契約等十分研究し平成25年度から整理していく。

一回の使用で 二回の使用料支払

小田議員 市施設の利用予約時に一回使用料を払った。

講師の都合で予約していた日を変更する口で再度予約し、使用料を払ったと聞くが事実なのか。

酒井農林水産商工部長 調査して6件あった。大変迷惑をかけた。今後注意していく。

小田議員 馬術競技大会後の埋立地への進入路は国見総合支所前の市道と国道251号と接するガソリンスタンド跡地付近から取り付けて、信号機を設置された交差点を地域は望んでいる。市長の見解は。

金澤市長 地域の意向もある。しっかり取り組んでいく。

市外の病院でも特定健診 人間ドック利用を

小田議員 受診率向上等の面からも、島原、南島原、諫早市が実施している人間ドックを本市も利用できないか。

また、隣接市の病院での特定健診も利用できるよう市民の立場で取り組めないか。

営市民生活部長 地域の利便性、かかりつけ医、補助の

その他一般質問事項

・入札無効による契約の中止等について

新市長 三つの指示は



なかむら いさお 議員
中村 勲

市長の施政方針より

中村議員 市長就任に当たり市政の舵取り役を担うことから職員へ三つの行動を指示された。

一つは、嘘をつかず現実をありのままに伝えること。

二つ目は、情報の迅速化、特に悪い情報ほど一秒でも早く報告すること。

三つ目は、仕事の無駄を省き、仕事の優先順位を明確にすること。と示されたことは、職務上最も重要な項目であり当然のことであるが、なぜ三つだけにこだわったのか。何かあつての指示なのか、その真意について伺いたい。市役所は、市民に対するサービス業であると言っても過言ではないと思うが、市民に親しまれ

る役所づくりについては指示されてない。先般、一般市民から私に対して、「役所の敷居が高い、職員は、市民に対して、上からの目線で見てい

るのではないか、役所に入っても一人として、こちらから挨拶をしない限り決して職員から挨拶された事はない」と苦情があつた。この話を聞くまでは、全職員が、忠実で親切に対応し、一生懸命仕事に従事されているものと思っていたが、この意見を聞いて、甚だ遺憾に思った。市長はこの意見を聞いてどのように思われるか、伺いたい。

金澤市長 最近の市の不祥事にかんがみ、その再発防止の意味からも、職員への行動範囲として最初の挨拶の中で、指示したものである。

畑中総務部長 あいさつの件は全職員に指示した。

その他の質問

・成年後見制度支援事業
・設備資金利子助成制度について

●平成25年第1回市議会に大いに期待です。金澤 秀三郎新市長の施政方針と具体策に対する議会の品格ある活発な質疑で、雲仙市の将来に夢と希望を抱きたいからです。議会は「議会基本条例」に忠実に「市民への情報発信」と「市民への説明責任」を堂々と全うしてほしいものです。市民は議会活動を、議員の姿を見ています。市民もそれぞれの立場・職域において努力研鑽いたします。市民・議会・行政の3本の矢で頑張りましょう。
(小浜町・宮田隆さん)

●もっと詳細な論議はなかったのか。議員の質問に答える市当局の文言が少ない。

まちづくり、地域活性化等、議員と一般市民の熱心な議論が必要でしょう。議会では情報収集・確認だけでなく、政策提案まで活動をお願いします。
(吾妻町・岩永好博さん)

●12月定例会の一般質問。市長の退職金はいくらなのか雲仙市民の方々は関心があった。雲仙市長の給与は(年額)1,284万円。なるべく退職金が

ないようによってもらいたい。今年の11月に市議会議員の選挙があるから、一生懸命頑張ってください。
(愛野町・川本武雄さん)



市民の皆様から「議会だより」にいただいたご意見や感想をご紹介します。
(文章は抜粋を掲載しています)

●市議会の内容が公開されるので、経済・教育・老人のことがわかり、地場産業の育成拡張がうかがわれます。

各議員さんが農業出身者、観光に詳しい人、いろいろおられるので議論いただきたい。
(小浜町・西原清博さん)

●言葉を文章にするとき、一字違っただけで全体から受ける印象が真意から外れる事もあります。それぞれの考えや答えがストリートに伝わるよう、今後もしなりなき眼にて編集作業を進めてください。

「教育予算を拡充し30人以下学級の実現を求める意見書」はなぜだかの外的のように思えます。国を頼る前に小規模学校をフルに活用できるようにすれば、市内だけで解決できるのでないでしょうか。地域にとってもその方が…。
(小浜町・川村公良さん)

●納税者として、市長・副市長・教育長の退職金は他の市町村に肩を並べていくべきだと思います。

市議会は朝の9時より始めてください。傍聴人も多くなりませう。国会も9時から昼の12時まで休みなしでぶっ通しです。昔なじみの朝6時のサイレンを鳴らしてください。
(吾妻町・井川廣さん)

●議会だよりを読んで、市長・副市長・教育長の退職金の多さに驚いています。市民の平均的な生活水準に見合った金額にしてほしいと思った。

各議員の方は市民の代表として市長・副市長・教育長等の給与・退職金等を見直してもらいたい。雲仙市の厳しい財政状況も考えてください。
(愛野町・ペンネーム 柴橋尚哉さん)

●特に一般質問など、女性の関心を引くものが少ないと思う。

議員さんに市民の意見を聞いていただく場を作してほしい。そうする事で、一般質問の内容も広がっていくのでは…。例えば、公民館の使用法など管理する側からの要望ばかりで、使用者の意見が上に届かない。せっかく定着しつつある生涯学習が衰退するのが目に見える。市民が主役と言う主旨をもう一度考えてほしい。
(愛野町・松尾貴子さん)



議会用語解説

政務活動費について

条例改正によりこれまでの「政務調査費」から「政務活動費」に名称が変わりました。

交付目的を「議員の調査研究その他の活動に資するため」に改め、政務活動費を充てることができる経費の範囲を定めています。

雲仙市議会の場合、議員一人あたり月額15,000円交付されます。

- ・ 調査研究費…議員が行う市の事務、地方行政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費
- ・ 研修費…議員が研修会を開催するために必要な経費、団体等が開催する研修会の参加に要する経費
- ・ 広報費…議員が行う活動、市政について住民に報告するために要する経費
- ・ 広聴費…議員が行う住民からの市政及び議員の活動に対する要望、意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費
- ・ 要請・陳情活動費…議員が要請・陳情活動を行うために必要な経費
- ・ 会議費…議員が行う各種会議、団体等が開催する意見交換会等各種会議への議員の参加に要する経費
- ・ 資料作成費…議員が行う活動に必要な資料の作成に要する経費
- ・ 資料購入費…議員が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費
- ・ 人件費…議員が行う活動を補助する職員を雇用する経費
- ・ 事務所費…議員が行う活動に必要な事務所の設置、管理に要する経費

議長は、政務活動費については、その使途の透明性の確保に努めることとする。



問1 「議会だより」を読まれての感想や、お気づきの点などあればお書きください。

問2 議会への意見や質問などお寄せください。

ご協力ありがとうございました。



議会へのご意見・ご感想をお寄せください！



雲仙市議会では、市民の皆様から広くご意見を伺うため、前回から議会だよりに返信用ハガキを掲載しています。

議会だよりに読まれての感想や議会に対するご意見等をご記入の上、ご送付ください。(お手数ですが、50円切手をお貼りください)

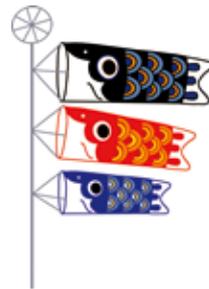
いただいたご意見等は、議会だよりに掲載する場合がありますので、ご了承ください。

議会を傍聴してみませんか？

平成25年第2回雲仙市議会定例会の会期日程（案）は
6月6日（木）～6月28日（金）です

- 一般質問 6月10日（月）～14日（金）
- 議案質疑 6月17日（月）
- 委員会

文教厚生常任委員会	6月18日（火）、19日（水）
産業建設常任委員会	6月20日（木）、21日（金）
総務常任委員会	6月24日（月）、25日（火）



※一般質問の日程は、質問者数などにより変わることもあります。
※簡単な手続きで傍聴できますので、議場へ足をお運びください。

編集後記

2月28日から3月28日までの29日間、新市長のもとで、本年最初の定例会が開催されました。新市長に多くの議員が、一般質問を行いました。まだ就任して間もない為か、市長答弁が少なく感じられた議会でした。

新年度が始まり、現議員の任期も半年余となりました。私達広報委員会では、多くの市民の方々に読んで頂けるような誌面にするべく色々な改善を図りながら、議会だよりを発行していきます。皆様のご意見をお聞かせ頂ければと思います。
(酒井 恭二)



議会広報編集特別委員会

委員長 上田篤 副委員長 浦川康二
委員 中村一明、岩下勝、町田康則
平野利和、酒井恭二
坂本弘樹、林田哲幸

郵便はがき

8 5 9 1 1 0 7

お手数ですが
50円切手を
お貼り下さい

長崎県雲仙市吾妻町牛口名714番地

雲仙市役所 議会事務局
「議会広報編集特別委員会」 行

(議会だより33号)

ふりがな
ご氏名

※議会だよりに掲載させていただく場合、イニシャルやペンネームを希望される場合は記入ください。

ご住所

電話番号()-()-()



この印刷物は、環境に配慮し再生紙と揮発性有機化合物を一切含まないNON-VOCベジタブルインキで印刷されています。